

## マッサージでできること 22 ～症例を参考に～

「末期ガンの N さん(62歳・女性)を最期まで寄り添わせていただけた経験 (後編)」

N さんの施術を開始して3回目が終わり、次回のお約束と体調をお聞きするため、ご自宅へお電話したところ、電話がつながりませんでした。心配になり、ご主人の携帯電話へご連絡したところ、緩和ケア病棟に入院したことを告げられました。

N さんのことを思いながら過ごしていると、数日して治療院に一本の電話がありました。電話の声を聞くと、穏やかな口調と聞き覚えのある声、N さんからの電話でした。N さんは、緩和ケア病棟の担当医に自宅で受けていた当院のマッサージを病院でも受けられないか相談しており、担当医も病院側と掛け合ってくれたそうで、保険外での施術なら可能と了承して下さいました。さっそく担当医と連携が取れるよう図って頂き、電話にて担当医と今までの経緯や経過、施術について説明し、現在の病状や今後の対応、注意点などを教えていただきました。

その日の夕方に病棟へ訪れ、担当の医師、看護師の方々に挨拶し、現在の状況を再度確認し、N さんにお会いしました。少し前にご自宅でお会いしていた時よりも、表情から辛さが伝わってきました。施術に関しては、ご本人の訴えをお聞きし、担当医からの情報を踏まえ、今できることを両者へご提案しました。

施術は、訴えのある腰背部と殿部に、緩やかな軽擦法(擦る手技)と、優しく・弱く押圧しました。腹部への刺激は担当医に注意するように言われていたので、腹部の辛いところへは、手を当てて、気持ちを込めることだけしました。

ご本人は、手を当てるだけでも、弱く擦ってくれるだけでも、気持ちが良く、気分も和らぐと仰ってくれました。

しかし、病棟での施術を2回終え、3回目に伺う前に、N さんが亡くなった報告を受けました。ご自宅に戻られてからお会いしに行き、ご家族からも嬉しいお言葉をいただきました。短い間でしたが、N さんに最後まで寄り添え、喜んでいただけて良かったです。(こぼり)



## 季節のコラム

「夏バテと肝臓」

暑い夏、皆様にも経験があるかもしれませんが、原因がよく分からないだるさや、元気が出ない等の夏バテ症状。実は、この原因は肝臓の疲れにあると言われています。



夏バテの主な原因は、冷たいものや生ものを食べ過ぎたり、冷房による体の冷え、暑さによる睡眠不足などが代表的なものです。

ここで、人が活動するためのエネルギーを生産し蓄えるという肝臓の機能の1つが関わってきます。体温が高くなったり冷やされたりするたびに身体は大量のエネルギーを使って一定に保とうと頑張っています。それが続くことで、だるくなったり、発熱したり、胃腸の動きが悪くなったりしてしまうのです。



そうならないように、室内の温度を工夫したり、睡眠の質を気にしてみたり、食事をなるべく栄養価の高いもの(特にVB1,B6,B12が取れるもの)を取るように心がけて、身体の準備をしておきましょう。(成島)

### ◆訪問医療マッサージを考える会つば

つば市内での在宅における訪問医療マッサージの現状を少しでも改善させ、利用者やその家族に喜ばれるよう、市内のマッサージ師(鍼灸師も含む)有志で2015年に結成しました。

(2017年8月現在、マッサージ師9名、鍼灸師9名所属)

事務局：こぼり治療院

☎ 029-869-9979

◆ホームページ随時更新中！

<http://medical-massage-at-home.com>



最後までお読み頂き、ありがとうございます。  
当会や在宅医療マッサージについて、  
ご興味・ご関心をお持ち頂きましたら幸いです。